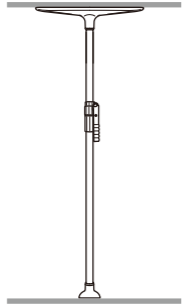


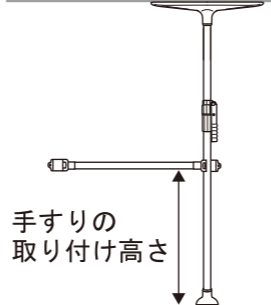
本体への取り付け方

- 本体や手すりの設置はかならず2人以上で行ってください。
- 手順に従わず設置した場合、本体や手すりがズレたり、はずれたりし、転倒などの事故につながるおそれがあります。かならず手順通りに設置してください。
- 身体の一部が挟まると重大事故につながる場合があります。適正なすき間を空けて設置してください。
- 転倒・転落した場合も想定して、身体が挟まれないよう、すき間を空けて設置してください。

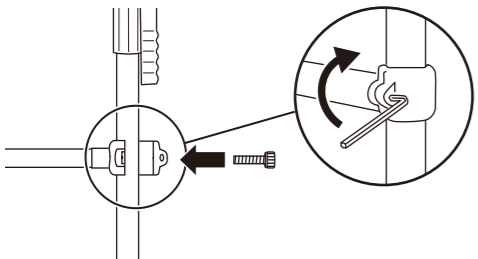
1 1本目の本体を、取扱説明書(本体)の設置方法に従い設置してください。



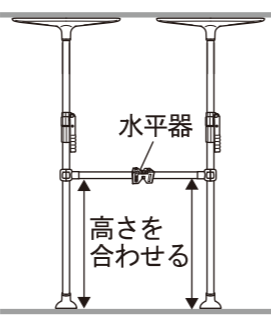
2 片側の手すりの固定部を開き、取り付け位置に合わせてください。
※手すりの取り付け高さを測定してください。2本目の本体へ取り付けるときに必要です。(下固定盤キャップ上端から手すり固定部下端まで)



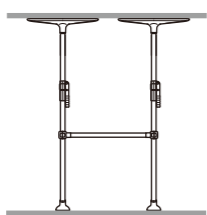
3 固定部を閉じ、固定ネジを手すり固定部の穴に挿入し、六角レンチで軽く締めます。



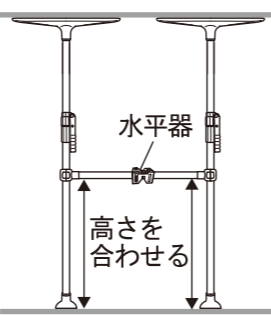
4 2本目の本体を設置場所に置き、反対側の手すり固定部において、**3**と同様に固定ネジを軽く締めます。
※手すりの位置は、**2**で測定した手すりの取り付け高さに合わせてください。
※2本目の本体が倒れないよう注意してください。



5 2本目の本体を設置手順に従い、設置してください。



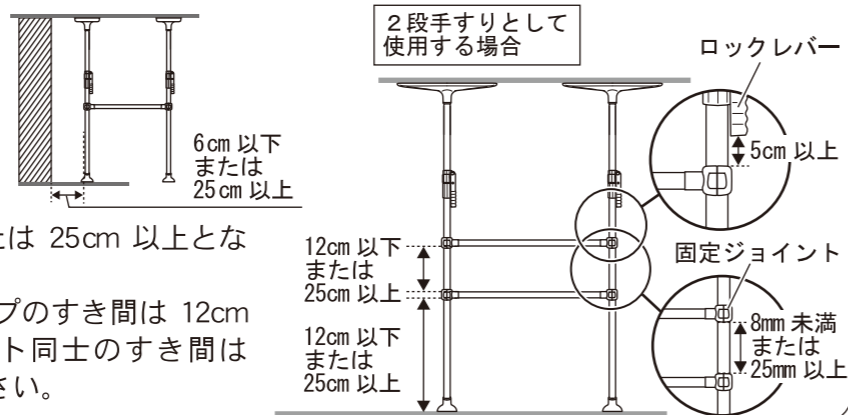
6 手すりが水平になるように、しっかりと固定ネジを締めて固定してください。
※本体付属品の水平器をご利用ください。



《手すりの取り付け範囲》

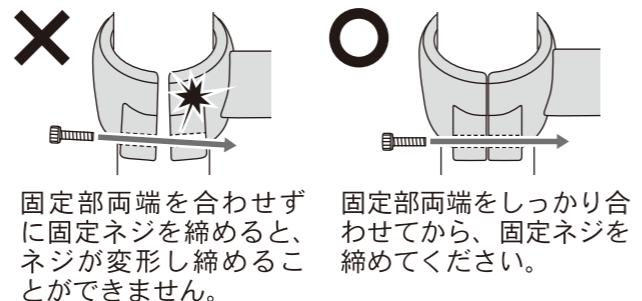
指、手や足、頭などの身体を挟まないよう、かならず下記の範囲で取り付けてください。また、つまずいたりしないよう配慮してください。

- 手すりと周辺の家具や壁などとのすき間が、6cm以下または25cm以上となるようにしてください。
- 手すりの上端を本体ロックレバーの下端から5cm以上離してください。
- 手すりとのすき間が、12cm以下または25cm以上となるようにしてください。
- 2段手すりとして使用する場合は、パイプのすき間は12cm以下または25cm以上、固定ジョイント同士のすき間は8mm未満または25mm以上としてください。



▲注意

- 固定部の滑り止めが摩耗したり劣化していないことを確認してから取り付けてください。
- 手すりが固定されていることを確認してから使用してください。
- 手すりがさがる場合は、固定部の固定ネジがしっかりと締まっていることを確認してください。改善しない場合は、弊社お客様相談窓口ご連絡してください。
- 固定部両端が合にくい場合は、指で押さえながら固定ネジを締めてください。



Tacaof

品名

つかまりポール用連結バー (固定タイプ)90cm/120cm

品番

HUP02/HUP03 取扱説明書

この度は、弊社製品をお買いあげいただきまして、ありがとうございます。正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書をかならずお読みください。また、読まれたあとは大切に保管してください。製品に関して不明な点や不都合なことがございましたら、ご購入販売店もしくは弊社お客様相談窓口へご連絡ください。

本製品は、「つかまりポール」HUH04・HUH06・HUH08専用です。

各部の名称と製品仕様

HUP02

(A)

(B)

HUP03

(A)

(B)

品番	HUP02	HUP03
品名	つかまりポール用連結バー (固定タイプ)90cm	つかまりポール用連結バー (固定タイプ)120cm
組み立て寸法	幅965×奥行75×高さ60mm	幅1265×奥行75×高さ60mm
本体支柱適応間隔(A)	900mm	1200mm
手すり有効長さ(B)	765mm	1065mm
質量	0.8 kg	0.9 kg
材質	ポリプロピレン・スチール	ポリプロピレン・スチール

※各寸法、重量は参考数値です。

製品の破損や異常を発見した場合は、直ちに使用を中止し、ご購入販売店もしくは弊社お客様相談窓口へご連絡ください。そのまま使用しますと、重大な事故につながる危険がございます。

※本製品をほかの方にお譲りになるときは、かならず本書もあわせてお渡してください。

株式会社 幸和製作所

〒590-0982 大阪府堺市堺区海山町3丁159番地1
TEL:072-238-0459
<https://kowa-seisakusho.co.jp/>

※製品は改良のため仕様の一部を予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

ご使用前の注意

警告 誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。

- 本製品は、「つかまりポール」シリーズ専用のオプションの手すりです。ほかの製品に取り付けて使用しないでください。
- 自分の力で危険から身を守ることができない方、使用方法が分からない方は使用しないでください。
- 使用前に、使用者の身体状態をかならず確認してください。使用者が自分の身体を安定させられない場合は、かならず介助者が付き添ってください。
- 手すりが固定されていることを確認してから使用してください。手すりを固定している固定ネジはしっかりと締められ、簡単にズレたり、はずれたりしないことを確認してください。固定が不十分な場合は、使用中にズレたり、はずれたりし、転倒やケガをするおそれがあります。
- 取り付け後に、手すりと周辺の家具や壁などとのすき間に十分注意してください。万が一、転倒・転落した場合でも、使用者が挟まれないような位置に設置し、すき間を確保してください。
- 2段手すりとして使用する場合は、手や足、頭などの身体が挟まらないよう注意してください。すき間に入ると重大事故につながります。

注意 誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が発生する可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。

- 本製品は、「布団やベッドなどの寝具からの起き上がり動作」、座位からの「立ち上がり動作」や「移動動作」および「移乗動作」などを補助するためのものです。本来の用途以外に使用しないでください。破損やケガの原因となります。
- 製品が落下するなど強い衝撃を与えると、破損して取り付けできなかつたり、使用中にはずれてケガをするおそれがあります。
- 取り付け・取りはずしは、手順通りに行ってください。手すりがはずれて、ケガをするおそれがあります。

ご使用上の注意

警告 誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。

- 本体および本製品は1人用です。2人以上同時に使用しないでください。
- 固定部に水などがかからないようにしてください。手すりがズレたり、はずれたりし、転倒やケガをするおそれがあります。水などで濡れた場合は、十分に乾かしてから使用してください。
- 手が濡れた状態で、手すりにつかまらないうでください。手が滑って転倒し、ケガをするおそれがあります。
- すき間に、手や足、頭などの身体が挟まらないように十分注意してください。すき間に入ると重大事故につながります。
- 手すりを横や上へ引っ張ったり、無理な力を加えて回したりしないでください。手すりや本体がズレたり、はずれて転倒しケガをするおそれがあります。
- 手すりにぶつかる、のぼる、ぶらさがる、勢いよく押す、引っ張るなどの強い衝撃を与えないでください。天井の破損、手すりのズレやはずれにつながり、転倒やケガをするおそれがあります。
- 手すりにもたれかかたり、座ったりしないでください。手すりがズレたり、はずれたりし、転倒やケガをするおそれがあります。
- 手すりに衣服などを引っかけたりしないよう注意してください。手すりがズレたり、はずれて転倒し、ケガをするおそれがあります。
- 本体の下固定盤を足で踏んだ状態で、手すりを引っ張らないでください。手すりがズレたり、はずれたりし、転倒やケガをするおそれがあります。
- ものを吊るしたりしないでください。本体がはずれて転倒しケガをするおそれがあります。
- ストーブなど火気の近くで使用しないでください。本体の変形や火災の原因となります。
- 固定部の滑り止めが摩耗したり劣化している場合は、使用しないでください。手すりが十分に固定されず、手すりや本体の破損、ズレやはずれにつながり、転倒やケガをするおそれがあります。
- 定期的到手すりの固定ネジにゆるみがないか確認してから使用してください。本体とネジやクギなどで固定していないため、手すりがズレる可能性があります。
- 取りはずしの際、固定部の滑り止めがはがれにくい場合は、無理に取りはずさないでください。手すりや本体の破損につながりますので、ラベルはがしなどを使用してはがしてください。
- 分解・改造・修理はしないでください。変形・破損の原因となり、ケガをするおそれがあります。

注意 誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性や物的損害が発生する可能性があるため、下記の項目をかならず守ってください。

- 本製品はかならず本体の下パイプに取り付けてください。上パイプに取り付けると十分に固定することができません。使用中に、手すりがズレたり、はずれたりし、転倒やケガをするおそれがあります。

保管方法

- 屋内に保管してください。
- 直射日光下、高温多湿な場所では保管しないでください。劣化、変形、変色の原因になります。
- 長期間使用しないときは、汚れを落とし、よく乾燥させてから保管してください。

お手入れ方法

- 日常のお手入れの際は、水またはぬるま湯につけた柔らかい布を固く絞って汚れを拭き取ってください。その後、乾いた布でしっかりと水気を拭き取ってください。
- 汚れが目立つ場合は、薄めた中性洗剤をつけた柔らかい布を固く絞って汚れを拭き取ってください。その後、水またはぬるま湯につけ固く絞った布で洗剤成分を拭き取り、乾いた布でしっかりと水気を拭き取ってください。
- タワシや研磨剤入りのスポンジ、磨き粉などは使用しないでください。
- 塩素系洗剤・シンナー・クレゾールなどは絶対に使用しないでください。劣化や破損をまねくことがあります。

組み立て方

■準備物

 パイプ × 1本	 固定ジョイント × 2個	 エンドキャップ × 2個	 固定ネジ × 2本	 タッピングネジ × 4本
---	---	---	--	---

- 左右のパイプ先端部にエンドキャップを入れます。
※固い場合は、ゴムハンマーなどでたたいてください。
※パイプの端面でケガをしないよう注意してください。
- 固定ジョイントに1をしっかりとめ込みます。
- 電動ドリルで2mm径金属用ドリルを使い、5～8mm程度の深さまで下穴をあけます。
※削りカスはしっかり取り除いてください。
タッピングネジを締め付けづらくなる場合があります。
- 電動ドライバーを使い、付属のタッピングネジで固定します。
※タッピングネジは樹脂面よりも下になるように締め付けてください。
- 固定ジョイントの裏面も同様にタッピングネジで固定してください。
※パイプが固定ジョイントにしっかりとハマっていることを確認してください。

▲注意

- 組立て時は十分な場所を確保し、敷物などを敷いてください。床などがキズつくことがあります。
- がたつきをなくすため、ネジは最後まで回してしっかりと固定してください。
- 穴あけに失敗した場合は、パイプ部を回転させ、新しい下穴を作り、固定してください。同じ穴にタッピングネジを締めつけると、締めが甘くなり、強度不足になる可能性があります。
- 一度、固定ジョイントを取り付けてから分解する場合、エンドキャップが抜けづらい場合があります。プライヤーなどで樹脂部をはさみ込んではずしてください。
- 組み立て後、がたつきや固定ネジのゆるみがないことをかならず確認してください。事故やけがの原因になります。

■パイプの切断方法

- パイプカッターなどでパイプを切断してください。
※パイプ先端が丸くなるなど、口径が小さくならないよう注意してください。
※口径が小さくならないければ他の方法でもかまいません。
※切断により口径が小さくなった場合は、細めの鉄パイプなどを利用して広げてください。

《一度穴をあけたエンドキャップを再使用する場合》

- 穴あけに失敗したり、パイプカット後に再度組み立てをするなど、一度穴をあけたエンドキャップを使う場合、エンドキャップを回転させ、最初の穴の位置とホルダーの穴の位置が一致しないようにして固定してください。同じ穴にタッピングネジを締めつけると、締めが甘くなり、強度不足になる可能性があります。※エンドキャップの回転角度の目安は45度です。

